

国語科学習指導案

学級： ひまわり学級
1年 男子 1人 計1人
場所： 特別支援学級教室
指導者： 教諭 下原 智子

1 単元名 単語の類別・品詞

2 単元について

(1) 単元設定の理由

社会生活において自分の考えを相手に正しく伝え、また相手の伝えたい内容をしっかり理解することは大切である。そのためにも経験的に知っている国語の文法のきまりの1つである単語の性質、使い方について確認することは、正しく文を書いたり、話したりするために必要なことである。

本単元は、品詞の性質について理解し、単語を品詞に分類できるようにする学習である。ここでは自立語で活用のある品詞の特徴を知ること、またその他の品詞について知ることを通して、これまでの自分の言葉の使い方について見つめさせるとともに、語彙を広げ情景や気持ちを入れて、自分の思いが相手によりくわしく正しく伝えられるようにしていきたい。

(2) 生徒の実態

本生徒は9教科とも中学1年の対応の教科書を使って学習しており、国語と英語を特別支援学級でその他の教科は通常学級で学習している。情緒的に不安定な面があり、特に特別支援学級での学習の際、気持ちが安定しているときまた興味のある学習内容には集中して取り組めるが、気持ちが安定していないときはなかなか集中力が続かないことがある。国語の学習に関してはあまり興味をもっていない。教科書の文章の内容の理解は、ほとんどワークシートを用いてとらえやすいようにしている。

生徒の実態

- 中学1年の教科書はすらすら読める。
- 漢字の書き取りは小学校の高学年の習得が不十分である。
- 文章の内容は質問をしながら一緒に考えていくとある程度理解できるが、深い理解には結びついていない。
- 文章を書くことは苦手である。事実即した文は書けるが、気持ちや情景を入れた文章はあまり書けない。
- 話を聞いての内容理解はできるが、最後まで落ち着いて聞くことが難しいときがある。
- 友だちや教師との日常会話は普通にできるが、経験したことや自分の伝えたい内容をいつ、どこで、誰が、等を入れて順序だててくわしく話すことは難しい。

(3) 指導上の留意点

指導に当たっては、品詞に分類する活動を通して、日常生活の中で無意識に使っている言葉について意識的にとらえ、言葉を大切にして正しく使う姿勢を育みたい。

学習意欲を高め、意欲を持続させられるように、カードを分類したり、ビンゴゲーム等をしたりして興

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	備 考
展 開	40 分	<p>4 動詞について知る。 (1) 動詞の性質について説明を聞く。 (2) 動詞と思う言葉をあげる。</p> <p>(3) 特徴について気づいたことを発表する。</p> <p>5 形容詞について知る。 (1) 形容詞の性質について説明を聞く。 (2) 特徴について気づいたことを発表する。 (3) 形容詞と思う言葉をあげる。</p> <p>6 形容動詞について知る。 (1) 形容動詞の性質について説明を聞く。 (2) 特徴について気づいたことを発表する。 (3) 形容動詞と思う言葉をあげる。</p> <p>7 今日の学習のまとめをする。 (1) 3つの品詞のカード分けをする。 (2) 品詞名のビンゴをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的に例をあげて、動作に関係ある言葉をあげさせる(☆) • 辞書に載っている形であることを確認する。 • ウ段で終わっていることに気づくことができるようにヒントを与える。 • 具体的に例をあげ、色や気候、気持ちに関係ある言葉をあげることができるようにする。(☆) • 「イ」で終わっていることに気づくことができるようにヒントを与える。 • 性質や状態を表す言葉をあげさせる。出ないときはジェスチャーをしてその言葉を考えさせる。(☆) • 「ダ」で終わっていることに気づくことができるようにヒントを与える。 • 状態を表す言葉をあげさせる。出ないときはジェスチャーをしてその言葉を考えやすいように支援する。(☆) • 黒板でカード分けをさせる。 • 品詞名を言ってから言葉を言えるように確認する。(☆) 	<p>ワークシート</p> <p>文字カード</p> <p>文字カード</p> <p>文字カード</p>
終 末	5 分	<p>8 学習について振り返る。</p> <p>9 次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日の学習で頑張ったことについて発表させる。(☆) • 次は名詞やその他の品詞について学習することを伝え、次時への意欲を高めることができるようにする。 	